

令和3年度第7回鳳来南部地域協議会 会議録

日 時	令和3年11月18日（木） 午後7時30分～午後8時30分
場 所	旧黄柳野小学校
出席者	委員19名 欠席者1名、事務局4名
傍聴人数	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 原田会長 2 協議事項 (1) 地域マネージャー制度について (2) 令和4年度鳳来南部地域活動交付金事業について 3 その他 4 今後の予定について <p style="text-align: right;">閉会のあいさつ 鳳来自治振興事務所長</p>
会議内容	
<p>1. あいさつ 原田会長</p> <p>2. 議事 (1) 地域マネージャー制度について 事務局より制度導入に向けた検討会立ち上げについて説明 質疑 (委員) この資料は鳳来南部にあわせて作られているが、他地区の実情はどうか。他地区は地域協議会で地域計画を検討して作成していて、推進する体制が整っていないと感じる。 (事務局) 東郷地区と舟着地区では検討会を立ち上げようとしている。東郷は地域協議会委員のみで検討を開始する。協議会の中で計画推進を検討している地区もあれば、協議会の外で検討している地区もある。 (委員) 形だけ先行してしまっ時期尚早に感じる。まちづくり会議の組織の整理が必要だと思う。 (会長) まちづくり会議が扇の要となって進めていく仕組みがあるが、機能しきれてないのが現状。組織のあり方も含めてマネージャーをどうしていくのかを考えていくのが検討会。それを立ち上げるかどうかを判断して欲しい。 (委員) 地域協議会が扇の要となって進めていくものと認識していた。 (会長) 地域計画の中でまちづくり会議の位置付けとして、要となって区会や地域協議会に意見をしようになっている。それを決定していくのが、区会であり地域協議会である。 (委員)</p>	

まちづくり会議の立ち位置をどうするのか。地域マネージャーを導入するかしないかの決定を10地区で統一しなくてもいいのか。

(事務局)

最終目標は全地区での導入だが、スタートは地区ごとに異なってくる。

(委員)

地域自治区や地域協議会が何をしていくべきか、もっと知る必要がある。このまま検討を始めても深い議論ができないのではないか。他地区の状況ももっと知りたい。

(委員)

今日採決するのは難しいのでは。地域計画を進めていくことはどうなるのか。まちづくり会議の中で話し合うべきでは。

(会長)

計画推進の仕組みとしては、まちづくり会議がある。そこと地域マネージャーをどうしていくのか、第三者の視点で検討が必要。

(委員)

地域協議会の任期は2年と聞いている。3年、4年の人もいるのか。

(会長)

地域協議会委員の任期は2年

(委員)

地域マネージャーの人数や任期はどうなる。

(事務局)

確定していないが、1人4年ぐらいを想定している。

(委員)

10地区で足並みをそろえて検討することは出来ないのか。

(事務局)

今年度は3地区の予定だが、来年度は10地区で検討を考えている。地区ごとに実情や考え方が違うので、時期を合わせても内容は違ってくる。

(委員)

まず鳳来南部地区で試験的に実施していくということか。

(事務局)

そうではない。まちづくり会議という土台があり検討を進めやすいのではないかと考えるが、こちらから強制するものではない。

(会長)

まだまだ議論が必要だと感じる。継続検討として次回に持ち越すかどうか採決したい。

賛成多数により、継続検討することに決定

- (2) 令和4年度鳳来南部地域活動交付金事業について
事務局より今年度の募集要件、審査基準について説明

質疑なし

賛成多数により、今年度と同様の条件で来年度の地域活動交付金事業を募集することを決定

3. その他

事務局より、地域活動交付金成果報告会および地域自治区予算の進捗状況について説明。成果報告会の実施については、次回地域協議会にて決定

4. 今後の予定

事務局より、第8回の日程および協議内容を説明。

石野事務所長のあいさつ後、閉会。

